

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
W e bデザイン演習 Web Design		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(特になし)	平成28年度入学生が対象
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
亀田和則		講義棟3F	月曜日	授業中に指示します
授業の概要				
これまでW e bサイトを構築する方法として、マークアップ言語を直接記述する方法とD r e a m w e a v e r等の専用ソフトを用いる方法が主流であったが、現在はC M Sによるサイト構築が注目されており、J i m d oが初心者向けとして着目されている。この授業ではJ i m d oによるW e bサイト構築の基礎を学ぶ。 S E O対策やWebマスターツール、G o o g l eアナリティクスおよびキーワードプランナーについても学ぶ。				
授業の目標				
①キーワードプランナーを操作できるようにする。 ②J i m d oの登録をできるようにする。 ③J i m d oの機能（ホームページのタイトル入力、ナビゲーション入力、見出し入力、文章入力、コンテンツ追加、カラム追加、余白バランス、水平線追加、リンク設定、G o o g l eマップ追加）を実行できるようにする。				
授業の方法				
①3つの目標を達成させるために、テキストに沿った演習を行う。 ②演習の進捗は揃えるので、終了しない部分は課題となる。 ③スケジュールを変更する際には、授業で連絡する。 ④留学生が受講することを考慮したペースとする。				
学習の成果（学習成果）				
授業の目標に掲げたJ i m d oの機能を用いて、W e bサイトを構築することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス（学習成果、成績評価） Jimdoって、どんなサービスなのかを講義する			
第2回目	ホームページを作るための事前準備をしよう			
第3回目	ホームページの土台を作ろう			
第4回目	T O Pページを作ろう			
第5回目	T O Pページの形を整えよう			
第6回目	新しいページを追加してみよう			

第7回目	インフォメーションのページを作ってみよう	
第8回目	ホームページ全体のスタイルを整えよう ※教科書の演習を終了する	
第9回目	学生オリジナルサイトに掲載する文章を作成する①	
第10回目	学生オリジナルサイトに掲載する文章を作成する②	
第11回目	学生オリジナルサイトに掲載する文章を作成する③ ※文章をアップロードする	
第12回目	Webマスタートツールの使い方	
第13回目	Googleアナリティクスの使い方	
第14回目	キーワードプランナーの使い方とキーワードからわかる訪問者の意識	
第15回目	授業で学習した内容の復習	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度		
レポート	100%	教科書の演習が該当する。満点となる条件は「教科書で指示された機能を十分に活用して期限内に提出されている」である。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
教科書：「はじめてのホームページ らくらく作成ガイド」（出版：小学館） ※必ず購入し、第一回目の授業から持参すること。		
履修上の留意点・ルール		
操作方法がわからないときは、原則として教員へ質問するが、隣の友達に質問をしてもよい。ただし、私語は慎むこと。2回の遅刻は1回の欠席となる。		